

平家物語 ②

1

次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

(略) 与一(よいち)目をふさいで、

「南無八幡大菩薩、我が国の神明、日光の権現、宇都宮、那須の湯泉大明神、願はくは、あの扇の真ん中射させてたばせたまへ。」

これを射損ずるものならば、弓切り折り自害して、人に二度面を向かふべからず。いま一度本国へ迎へんとおほしめさば、この矢はづさせたまふな。」

と心のうちに祈念して、目を見開いたれば、風も少し吹き弱り、扇も射よけにぞなつたりける。

与一、かぶらを取つてつがひ、よつびいてひやうど放つ。小兵といふぢやう、十二束三伏、弓は強し、浦響くほど長鳴りして、あやまず扇の要ぎは一寸ばかりおいて、ひいふつとぞ射切つたる。かぶらは海へ入りければ、扇は空へぞ上がりける。しばしは虚空にひらめきけるが、春風に一もみ二もみまれて、海へさつとぞ散つたりける。夕日のかかやいたるに、みな紅の扇の日出だしたるが、白波の上に漂ひ、浮きぬ沈みぬ揺られければ、沖には平家、ふなばたをたたいて感じたり、陸には源氏、えびらをたたいてどよめきけり。

あまりのおもしろさに、感に堪へざるにやとおぼしくて、舟のうちより、年五十ばかりなる男の、黒革をどしの鎧着て、白柄の長刀持つたるが、扇立てたりける所に立つて舞ひしめたり。伊勢三郎義盛、与一が後ろへ歩ませ寄つて、

③「御定ぞ、つかまつれ。」

と言ひければ、今度は中差取つてうちくはせ、よつびいて、しゃ頸の骨をひやうふつと射て、舟底へ逆さまに射倒す。平家の方には音もせず、源氏の方にはまたえびらをたたいてどよめきけり。

「あ、射たり。」

④と言ふ人もあり、また、
「情けなし。」

と言ふ者もあり。

(巻十一より)

(1) ①のような擬音語を古文中から二つ探し、書き抜きなさい。

い。

〔 〕

(2) a・bはそれぞれ何(だれ)の動作ですか。それぞれ古文中から一語で書き抜きなさい。

〔 a 〕

〔 b 〕

(3) ②とありますが、「年五十ばかりなる男」がこのような行動をとった理由として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 与一の見事な弓の腕前にひどく感心したから。
- イ 自信たつぷりの与一をからかつてやろうと思ったから。
- ウ 自分の舞のすばらしさを見せびらかしたかったから。
- エ 元気をなくした自軍を上げまそうと思ったから。

(4) ③は、「御命令であるぞ、いたせ。」という意味ですが、これは、何を「いたせ」と言ったのですか。現代語で簡潔に答えなさい。

〔 〕

(5) ④と言ったのはなぜですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 源氏の武士たちが、歓声を揚げて与一をはやしたたてたから。
- イ 平家方の武士が舞を舞って与一をからかったから。
- ウ 与一の腕前をほめたたえている平家の武士を殺したから。
- エ 与一が人間を的にして弓の腕前を示そうとしたから。

〔 〕

かかった時間 正解数

分

組 番 名前

1

- (1) ひやう(ど) ひやうふつ(と) (順不同)
- (2) a 扇 b 伊勢三郎義盛
- (3) ア
- (4) (例) 舞を舞っている男を射倒せ(と言った)。
- (5) ウ

間違った問題を確認してみよう！

1

次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

略) 与一、目をふさいで、

「南無八幡大菩薩、我が国の神明、日光の権現、宇都宮、那須の湯泉大明神、願はくは、あの扇の真ん中射させてたばせたまへ。これを射損ずるものならば、弓切り折り自害して、人に二度面を向かふべからず。いま一度本国へ迎へんとおほしめさば、この矢はづさせたまふな。」

と心のうちに祈念して、目を見開いたれば、風も少し吹き弱り、扇も射よげにぞなつたりける。

与一、かぶらを取つてつがひ、よつびいてひやうど放つ。小兵といふぢやう、十二束三伏、弓は強し、浦響くほど長鳴りして、あやまたず扇の要ぎは一寸ばかりおいて、ひいふつとぞ射切つたる。かぶらは海へ入りければ、扇は空へぞ上がりける。しばしは虚空にひらめきけるが、春風に一も二もみもまれて、海へさつとぞ散つたりける。夕日のかかやいたるに、みな紅の扇の日出だしたるが、白波の上に漂ひ、浮きぬ沈みぬ揺られければ、沖には平家、ふなばたをたたいて感じたり、陸には源氏、えびらをたたいてよめきけり。

あまりのおもしろさに、感に堪へざるにやとおほしくて、舟のうちより、年五十ばかりなる男の、黒革をどしの鎧着て、白柄の長刀持つたるが、扇立てたりける所に立つて舞ひしめたり。伊勢三郎義盛、与一が後ろへ歩ませ寄つて、

③「御定ぞ、つかまつれ。」

と言ひければ、今度は中差取つてうちくはせ、よつびいて、しや頸の骨をひやうふつと射て、舟底へ逆さまに射倒す。平家の方には音もせず、源氏の方にはまたえびらをたたいてよめきけり。

「あ、射たり。」

と言ふ人もあり、また、

④「情けなし。」

と言ふ者もあり。

(卷十一より)

- (1) ①のような擬音語を古文中から二つ探し、書き抜きなさい。
 - (2) a b はそれぞれ何(だれ)の動作ですか。それぞれ古文中から一語で書き抜きなさい。
 - (3) ②とありますが、「年五十ばかりなる男」がこのような行動をとった理由として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。
 - (4) ③は、「御命令であるぞ、いたせ。」という意味ですが、これは、何を「いたせ」と言つたのですか。現代語で簡潔に答えなさい。
 - (5) ④と言つたのはなぜですか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。
- ア 源氏の武士たちが、歓声を揚げて与一をはやしたてたから。
- イ 平家方の武士が舞を舞つて与一をからかったから。
- ウ 与一の腕前をほめたたえていた平家の武士を殺したから。
- エ 与一人間を的にして弓の腕前を示そうとしたから。